

輸送の安全のために講じた措置

2023年度	項目	実績（円）
車両	デジタルタコグラフ入れ替え	382,514
	駐車場 センサーライト	6,980
	車庫 駐車場整備	250,000
	新デジタル点呼導入費用	651,750
	携帯用アルコールチェッカー 入れ替え	368,280
乗務員	適性診断	-
	安全講習会（外部講習参加）	13,000
	実施研修会	16,000
	安全運転中央研修	122,600
	教育システム通信費	142,560
運行管理	デジタルタコグラフ通信費	422,928
	運行管理講習	3,200
	安全リスクマネジメント講習	-
	運行管理システム料	390,000
健康管理	睡眠時無呼吸症候群（SAS）検査	-
	脳MRI検査 頸動脈超音波検査	52,800
	健康診断	116,615
感染症予防対策	車内消毒	8,000
		2,947,227

車両火災を想定した緊急時避難訓練を実施し、乗客の避難誘導・非常口及び消火器の取り扱いと初期消火作業を行いました。

適正診断[適齢・一般]を行い、その診断結果をもとに教育指導を行いました。

脳MRI検査 頸動脈超音波検査、検査を実施しました

自動車安全運転センター 中央研修所 2日コース 2名受講

安全マネジメントセミナーを受講しました

運転士の事故防止のための実施運転研修を2回行いました、ドライブレコーダーを活用した研修を行いました

輸送の安全のために講じ講じようとする措置

2023年度	項目	予算 (円)
車両	携帯用アルコールチェッカー2台追加	2,600,000
	アルコールチェッカーメンテナンス	121,200
	小型バス車両整備	1,500,000
乗務員	適性診断	—
	安全講習会	20,000
	実施研修会	20,000
	安全運転中央研修	140,000
	教育システム通信費	142,560
運行管理	デジタルタコグラフ通信費	450,000
	運行管理システム料	850,000
	外部セミナー受講	100,000
健康管理	睡眠時無呼吸症候群 (S A S) 検査	30,000
	脳M R I 検査 頸動脈超音波検査	200,000
	眼底・眼圧検査	22,990
	健康診断	130,000
感染症予防対策	車内消毒	30,000
合計		6,356,750

健康管理について

- ・ 定期的な健康診断・脳M R I 健診の実施と健康状態の把握・管理・指導を行う。
- ・ 睡眠時無呼吸症候群 (SAS) 検査を実施します

運転者の研修について

- ・ 定期的な適性診断の受診と診断結果に基づく教育・指導を行う。
- ・ 緊急時避難訓練を実施し、緊急時の対応力の強化を行う

外部機関での実技研修について

運転士

- ・ 自動車安全運転センター 中央研修所での運転技術の習得と安全運転教育者の育成

運行管理者

- ・ 輸送安全マネジメントセミナー受講

社内規定の遵守と厳正な点呼の実施

- ・ 内部監査における指導項目ゼロ達成。
- ・ 疲労・疾病・睡眠状況の確認とアルコール検出者ゼロ達成